

# 提 言 書

高知県内の各地域では、気候変動の影響により激甚化、頻発化する自然災害や、発生の切迫度が高まる南海トラフ地震への備えを高めるため、インフラの整備に加え、無電柱化の推進など、住民の命を守りつなげるための取り組みを強化しています。

また、長引く新型コロナウイルス感染症の影響から、徐々に回復しつつある地域経済を後押しし、さらに、コロナとともに生きる新たな社会の構築に向けて、観光の再生や県産食材の消費回復などに全力で取り組んでいます。

道路整備においては、通常予算に加え、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算も活用し、高規格道路のミッシングリンクの解消や法面对策、老朽化対策など道路ネットワークの機能強化を推進しています。

このような中、先月5日には台風4号の影響により、本県で今年初となる線状降水帯が発生し、県中西部の多くの道路で土砂崩れや路面冠水による通行止めが発生しました。

中土佐町の国道56号では、法面崩壊の発生により現道が寸断される事態となりましたが、並行する四国横断自動車道を利用することで早期に地域間交通が確保され、ダブルネットワークの重要性を再認識いたしました。

国土強靱化の取り組みを着実に進め、地域の安全・安心な暮らしや経済を支え、地方創生を強力に進めていくとともに、地域の取り組みと道路整備によってもたらされる効果を早期に発現させ、先々にわたり確実なものとするとともに、ポストコロナの経済的対応のため、以下の4項目を提言します。

## 一、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化

・四国横断自動車道(宿毛和田～宿毛新港)、阿南安芸自動車道(奈半利～安田)

一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと

一、高規格道路のミッシングリンクの解消、四車線化とダブルネットワークの構築及び開通予定時期の早期公表

一、道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和五年度道路関係予算は、所要額を満額確保すること

令和4年8月9日

道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 会長 池田 洋光